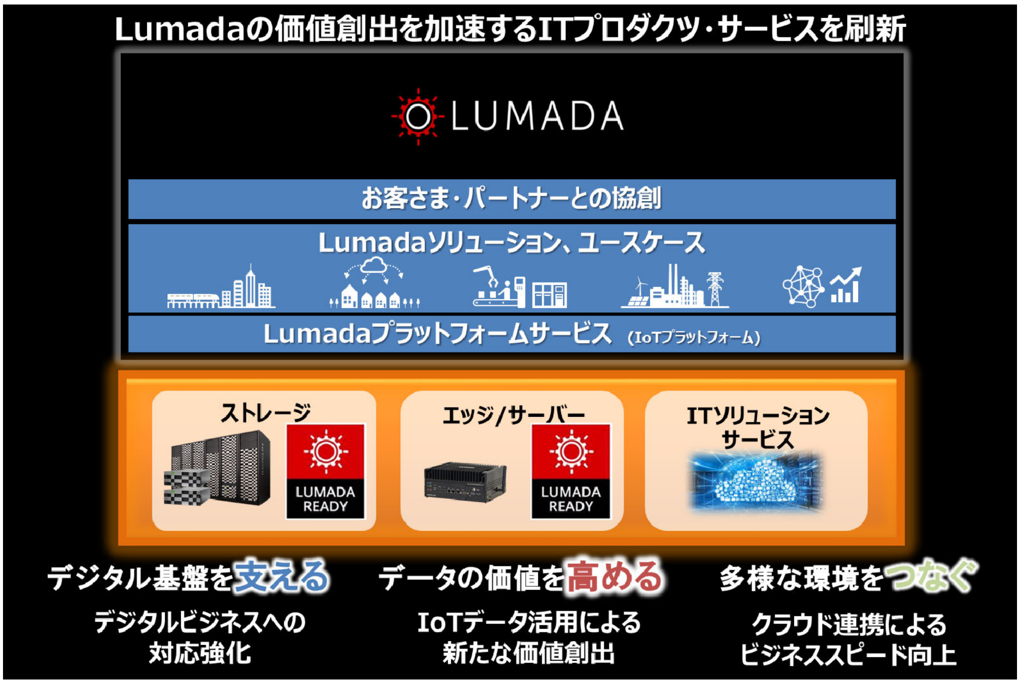
HITACHI
Inspire the Next

# News Release

2019 年 10 月 10 日
株式会社日立製作所

## シームレスなデータ運用でお客さまのデジタルトランスフォーメーションに貢献する スケールアウト型フラッシュストレージやクラウド関連サービスを販売開始

エッジからクラウドまでコンポーザブルな IT インフラ製品・サービス群としてラインアップを刷新




Lumada 事業を支える IT インフラ製品・サービス群

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭／以下、日立)は、エッジからクラウドまで、目的に合わせて柔軟な製品構成が可能となるコンポーザブルな IT インフラ製品・サービス群として、ストレージ・サーバー製品やクラウド関連サービスなどのラインアップを刷新し、10 月 10 日から順次販売開始します。具体的には、スモールスタートが可能なスケールアウト型フラッシュストレージ「Hitachi Virtual Storage Platform(以下、VSP) 5000 シリーズ」や、エッジでのデータ処理や分析に特化したエッジアナリティクスコンピュータ「HA8000E シリーズ」、プライベートクラウド環境の導入を容易にする「IT 基盤ユーティリティサービス」、および適切な運用コストでのデータ利活用を促進する「IT リソース最適化支援サービス」などのクラウド関連サービスを新たに販売開始し、デジタルイノベーションを加速する日立の Lumada 事業を支えます。

日立は、今回のラインアップの刷新により、お客さまのデジタル基盤を支え、データの価値を高め、多様な環境を繋ぐことでエッジからクラウドまでシームレスなデータ運用を実現し、お客さまのデジタルトランスフォーメーションに貢献します。

Hitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYO

近年、ビジネス環境の変化のスピードや複雑さが増す中、企業には、既存ビジネスを効率化しつつ、デジタルトランスフォーメーションの加速に向け、流動的な市場・顧客動向をリアルタイムに把握し、それに適したサービスをタイムリーに提供していくことが求められています。IoT や AI などのデジタル技術を活用し、エッジ側でデータ収集・加工・分析をしつつ、経営データと掛け合わせた分析をクラウド側で実施するなど、迅速な課題解決や意思決定を支援するソリューションが求められています。

このような背景のもと、日立は、お客さまとの協創で培った技術・ノウハウを結集したLumadaソリューションや、それらをクラウド基盤上で容易かつ迅速に利用可能とするLumada Solution Hub*1を提供し、お客さまの課題解決に貢献しています。

*1 2019 年 3 月 18 日ニュースリリース「Lumada ソリューションの導入を迅速かつ容易にする「Lumada Solution Hub」を販売開始」
https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/03/0318.html

今回、これからのデジタルビジネスの加速に向け、「デジタル基盤を支える」「データの価値を高める」「多様な環境を繋ぐ」の 3 つの観点で、従来から提供してきたストレージ・サーバー製品やクラウド関連サービスなどを強化し、エッジからクラウドにわたって柔軟な構成が可能なコンポーザブルな IT インフラ製品・サービス群への刷新を行いました。

エッジ側での多様なデータの収集と一次分析を担う新エッジアナリティクスコンピュータ「HA8000E シリーズ」と、データセンター側での安全、高速なデータ統合・蓄積・分析を支援する新スケールアウト型フラッシュストレージ「VSP 5000シリーズ」により、エッジでのリアルタイム分析からセンター側の詳細分析までのシームレスなデータ運用を支援し、事業に求められるスピードや重要度に応じたデータ活用環境の構築を実現します。

また、日立のストレージやサーバーを月額料金で提供する「IT 基盤ユーティリティサービス」や、多様な IT 環境のリソース状況の見える化やその最適構成を提案する「IT リソース最適化支援サービス」により、IT 投資最適化や適切なデータ運用コストでのデータ利活用を支援します。これらのサービスの利用により、各種 Lumada ソリューションのシステム基盤を構築する際、高信頼で運用負荷の少ない基盤構築を適切なコストで実現することが可能です。

今回の刷新により、安定的かつ低コストでの運用が求められる既存ビジネスのみならず、迅速な立ち上げや柔軟なシステムの拡張が求められるデジタルビジネスにおいても、お客さまの事業変化に応じたデータ利活用を支援します。

日立は今後も、Lumada 事業を支えるデジタル基盤として、エンタープライズ向けの Software Defined Storage 技術を活用した IoT 向け分散ファイルストレージを提供するサービスや、AI を活用した IT インフラ運用の自律化を実現する運用管理ソフトウェア「Hitachi Ops Center」など、ビジネス状況に応じて柔軟なデータ利活用を支援する IT インフラ製品・サービス群を順次拡充していきます。

## ■新製品・サービスの特長

### 1. デジタル基盤を支える「VSP 5000 シリーズ」

従来の基幹ビジネスからデジタルビジネスまでシームレスに支える高速データアクセス基盤を提供

今回、新アーキテクチャー*2 の採用により、リニアなスケールアウトによる柔軟性・俊敏性の向上や、障害発生時の自動的な冗長性の回復*3 などの信頼性の強化に加え、従来比最大 2.3 倍のデータアクセス性能の向上*4 を実現しました。また、従来の SAS ドライブと高速な NVMe*5 ドライブの混載の実現により、さまざまな業務が発生する環境でも適切なコストで用途に応じた柔軟なドライブ構成が可能となり、従来の基幹ビジネスとデジタルビジネスの共存を実現します。さらに、サイバー攻撃対策として、攻撃できない領域へのデータ複製機能を備えており、感染検知から復旧までの支援により、クラウドでのセキュアな環境を実現します*6。

*2 Hitachi Accelerated Fabric
*3 VSP 5500, VSP5500H で対応
*4 従来モデルである VSP F1500 と、同等容量構成の新モデル VSP5500(6node)における最大スループットでの比較
*5 Non-Volatile Memory Express
*6 「データ保護ソリューション」として提供

### 2. データの価値を高める「HA8000E シリーズ」

エッジ側でのリアルタイム分析からセンター側の詳細分析まで、データ活用環境の整備を支援

多様な IoT デバイスのインターフェースや標準プロトコルのサポートにより、製造現場のデータや、監視カメラからの映像・画像などのさまざまな IoT データの容易な収集を実現します。また、高性能プロセッサーの搭載により、画像分析といった、従来はデータセンター側で行われてきたデータ分析処理の一部を工場や店舗などエッジ側で実施することが可能なため、クラウドへのデータ転送量を削減することができ、タイムリーな分析を適切なコストで実現します。

### 3. 多様な環境をつなぐクラウド関連サービス

IT インフラ運用の負荷の軽減と適切なデータ運用コストでのデータ利活用を支援

最新のストレージやサーバーを、月額課金でプライベートクラウドとして利用できるサービス*7 や、日立のストレージをパブリッククラウドと高速回線で接続したデータセンターに設置して利用できるサービス*8 を順次提供開始します。また、今後、プライベートクラウドからパブリッククラウドまで、多様な IT 環境のリソースの状況を一括して見える化し、AI で最適な構成を予測して提案する「IT リソース最適化支援サービス」を提供します。

これらにより、性能、信頼性および運用容易性の観点からお客さまにとって最適なハイブリッドクラウド環境を適切なコストで実現し、データ利活用を支援します。

*7 「IT 基盤ユーティリティサービス」として提供
*8 「ストレージボリューム提供サービス on Equinix IBX DC」として 2020 年 1 月より提供開始予定

■新製品・サービスの価格および提供開始時期

| 製品・サービス名 | メニュー内容 | 価格(税別) | 提供開始時期 |
| --- | --- | --- | --- |
| Hitachi Virtual Storage Platform 5100、Hitachi Virtual Storage Platform 5100H | 基本コントローラシャーシセット | 4,200 万円～ | 10 月 10 日 |
| Hitachi Virtual Storage Platform 5500、Hitachi Virtual Storage Platform 5500H | 基本コントローラシャーシセット | 6,400 万円～ | |
| HA8000E/EL300 | ・システム構成<br>プロセッサー:インテル® Core™ i5 プロセッサー<br>メモリー:8GiB～<br>システム物理容量:256GB～ | 57.5 万円～ | 10 月 31 日 |
| データ保護ソリューション | サイバー攻撃からストレージ保管データを保護 | 個別見積 | |
| IT 基盤<br>ユーティリティサービス | 日立ストレージ・サーバーの月額課金サービス | 個別見積 | |

■日立ストレージソリューションのホームページ
http://www.hitachi.co.jp/storage/

■Hitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYO での紹介について
本製品・サービスは、日立が 2019 年 10 月 17 日(木)～18 日(金)に、東京国際フォーラムで開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYO」において、ご覧いただけます。

■Hitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYO オフィシャルサイト
https://hsiftokyo.hitachi

■他社商標注記
・Equinix は、Equinix, Inc.の登録商標です。
その他記載の会社名および製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

■日立製作所について
日立は、OT(Operational Technology)、IT(Information Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2018 年度の連結売上収益は 9 兆 4,806 億円、2019 年 3 月末時点の連結従業員数は約 296,000 人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダスト

リー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。
詳しくは、日立のウェブサイト(http://www.hitachi.co.jp)をご覧ください。

**■お客さまお問い合わせ先**
株式会社日立製作所 サービス&プラットフォームビジネスユニット IT プロダクツ統括本部
お問い合わせフォーム:http://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/

以上

-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------
このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、
お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と
情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------